
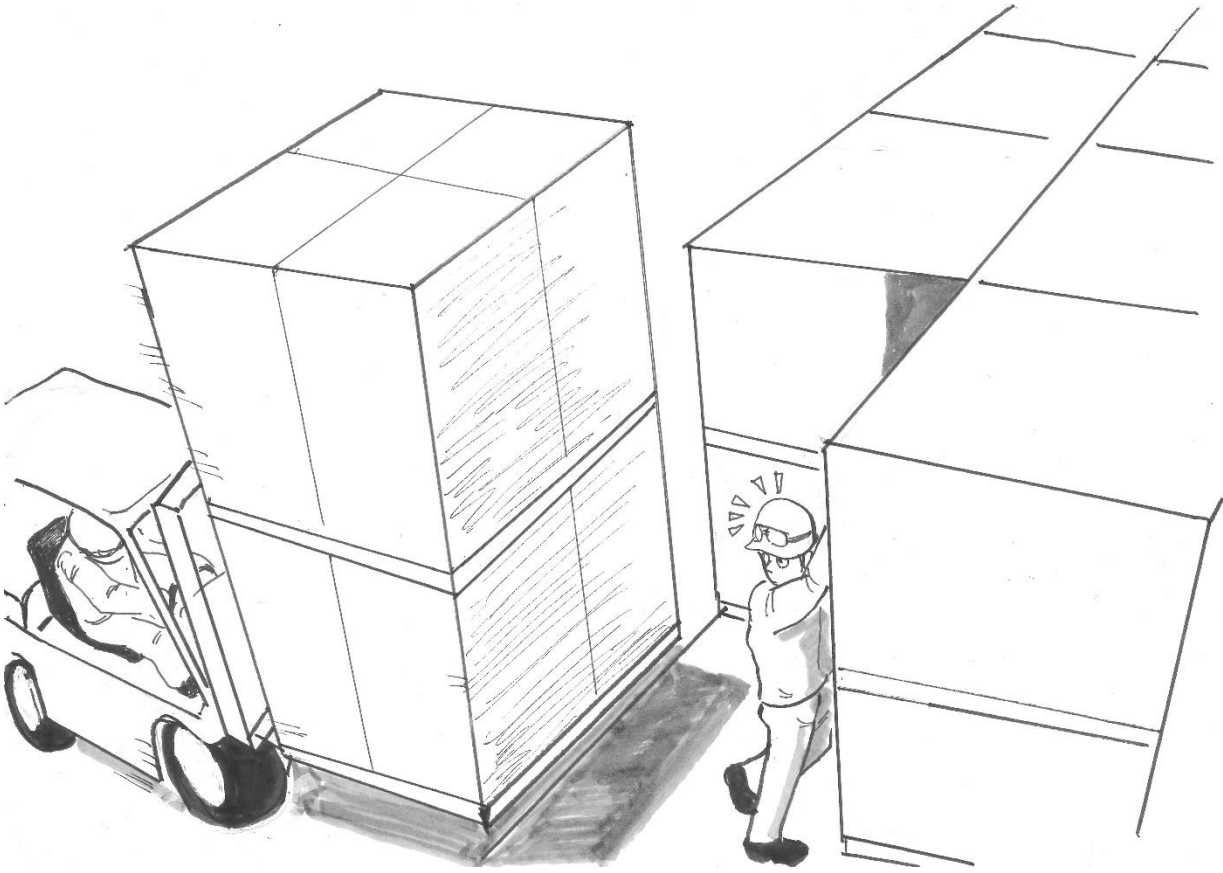
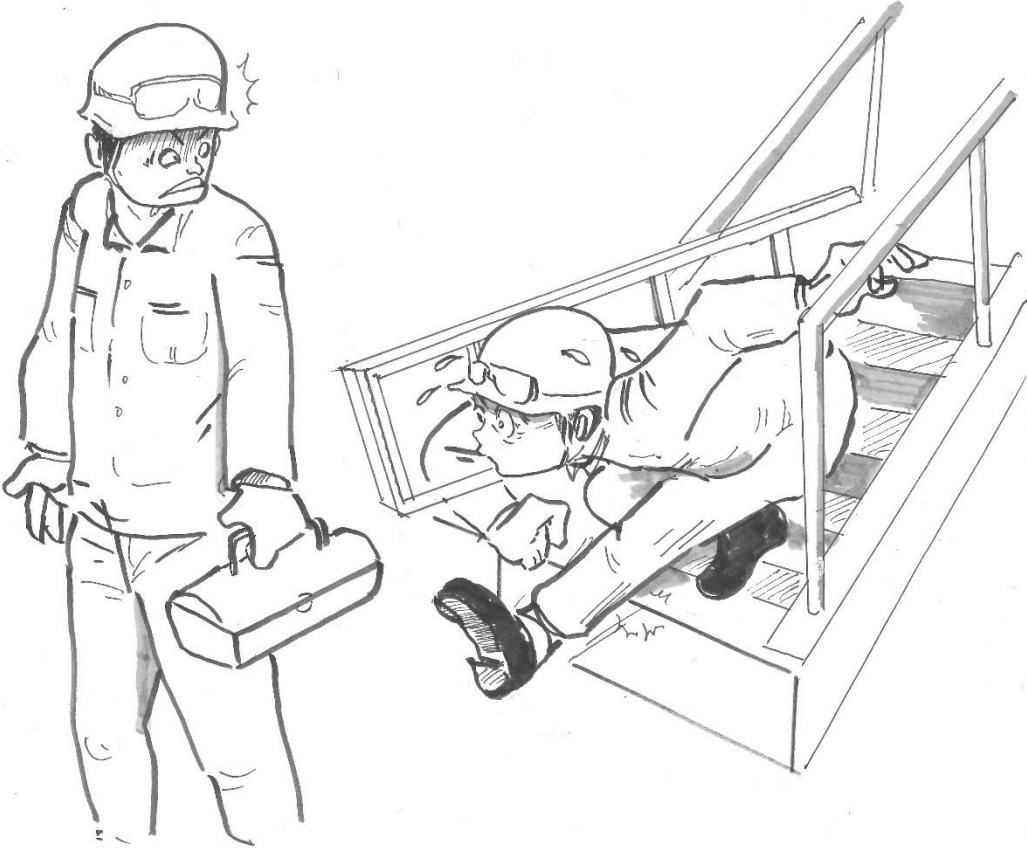


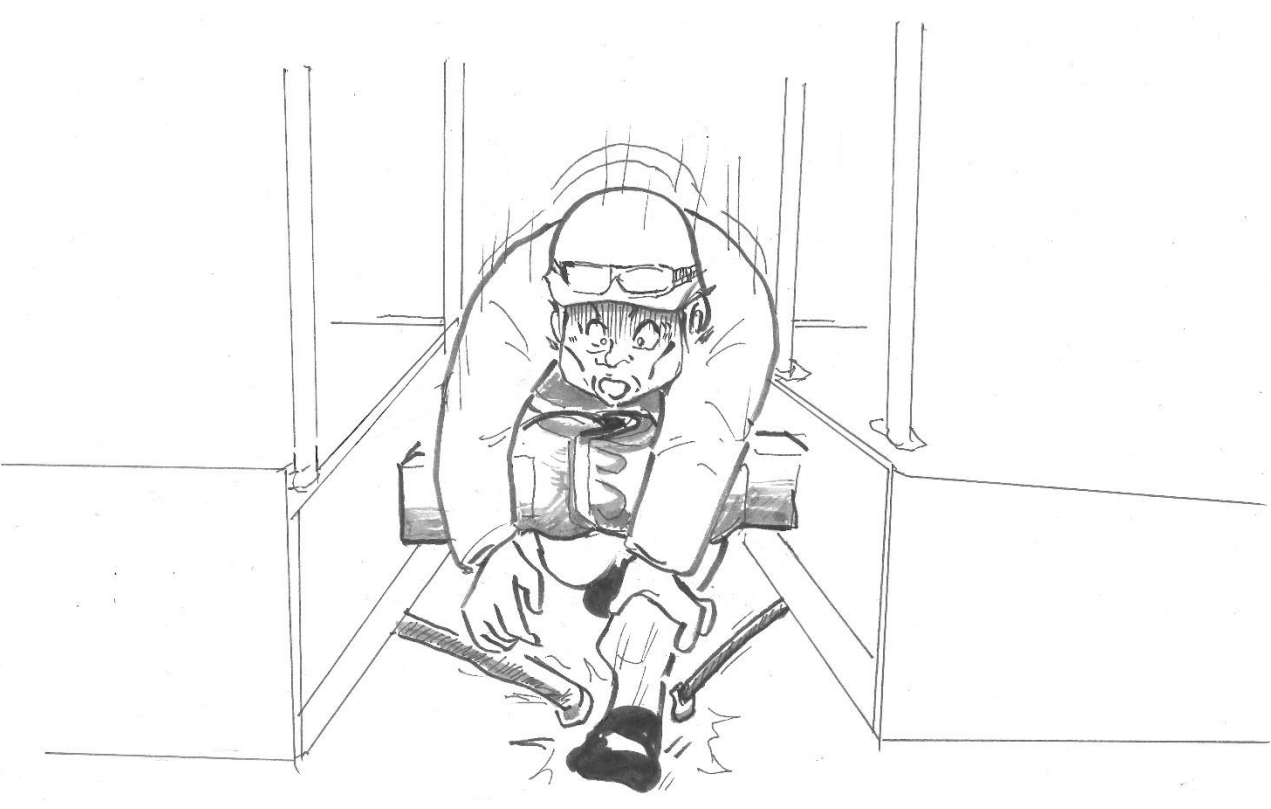
災害事例 (休業1)		災害発生前にリスク アセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所		2021年1月12日(火) 14時5分	: 屋外
職種:年齢:経験		作業員	: 72才 : 21年
発災時の作業内容		建物周囲を清掃中、歩道の段差につまずいて転倒し、手をつき負傷した。	
傷病名:部位:程度		骨折	: 左手親指 : 休業56日
事故の型:起因物		転倒	: 段差
原因	不安全な状態	・歩道に段差があった。	
	不安全な行動	・歩道に段差があることを確認していなかった。	
	安全管理上の欠陥	・歩道の段差を直していなかった。	
再発防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の段差をなくす。</li> <li>・歩行中は足下を確認することを教育し、現地で確認指導する。</li> </ul>	
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業2)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2021年1月15日(金)	15時15分	構内道路
職種:年齢:経験	運転士	48才	14年
発災時の作業内容	フォークリフト作業時、荷台の上で荷崩れ防止措置の作業をしていた被災者の足に、積み込む製品のパレットを当てて負傷させた。		
傷病名:部位:程度	打撲	左足首	休業3日
事故の型:起因物	はさまれ、巻き込まれ		フォークリフト
原因	不安全な状態	・積荷が大きくて被災者が見えなかった。	
	不安全な行動	・積み込む場所には人がいないと思って製品を積み込んだ。	
	安全管理上の欠陥	・フォークリフトの荷役作業に作業指揮者を配置していなかった。 ・同時作業による具体的な連携方法を定めていなかった。	
再発防止対策	・トラックへの製品積み込み作業は作業指揮者を配置する。 ・同時作業による具体的な連携方法を定めて教育指導し、現地で確認する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業3)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所		2021年1月29日(金) 11時	: プラント内
職種:年齢:経験		電気・計装工	: 71才 : 44年
発災時の作業内容		午前の作業が完了し、手すりを持って階段を降りていた。 最後の段まで降りたところ、先に降りていた他の作業員が立ち止まっていたため、前方に気を取られて足元の確認が疎かになり転倒した。	
傷病名:部位:程度		打撲	: 左膝 : 休業14日
事故の型:起因物		転倒	: 階段
原因	不安全な状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段と基礎の高さに違いがあった。</li> <li>・手すりが床面まで施工されていなかった。</li> </ul>	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足元の確認が不足していた。</li> <li>・先に降りていた他の作業員が立ち止まっていたので、周囲を確認せずに階段を降りた。</li> </ul>	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段と基礎の高さに違いがあり、手すりが床面まで施工されていないので階段の昇降は注意するように指導していなかった。</li> </ul>	
再発防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段昇降時は周囲を確認すると共に、前後の作業員との距離をとる。</li> <li>・本事例について構内作業員へ教育を行う。</li> </ul>	
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し
			


災害事例 (休業4)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所		2021年2月21日(日) 11時50分	構内
職種:年齢:経験		作業員	61才 1年5ヵ月
発災時の作業内容		廃棄物置場の床面を洗浄するため、洗浄用ホースを引っ張ったところ、左膝に痛みを感じた。	
傷病名:部位:程度		靭帯、半月板損傷	膝 休業21日
事故の型:起因物		動作の反動、無理な動作	洗浄用ホース
原因	不安全な状態	・膝軟骨すり減りの持病があった。	
	不安全な行動		
	安全管理上の欠陥	・持病を含めた作業員の体調確認が不十分だった。	
再発防止対策		・作業員に対して毎日の体調確認を行い、必要に応じて適切な配置を行う。	
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し

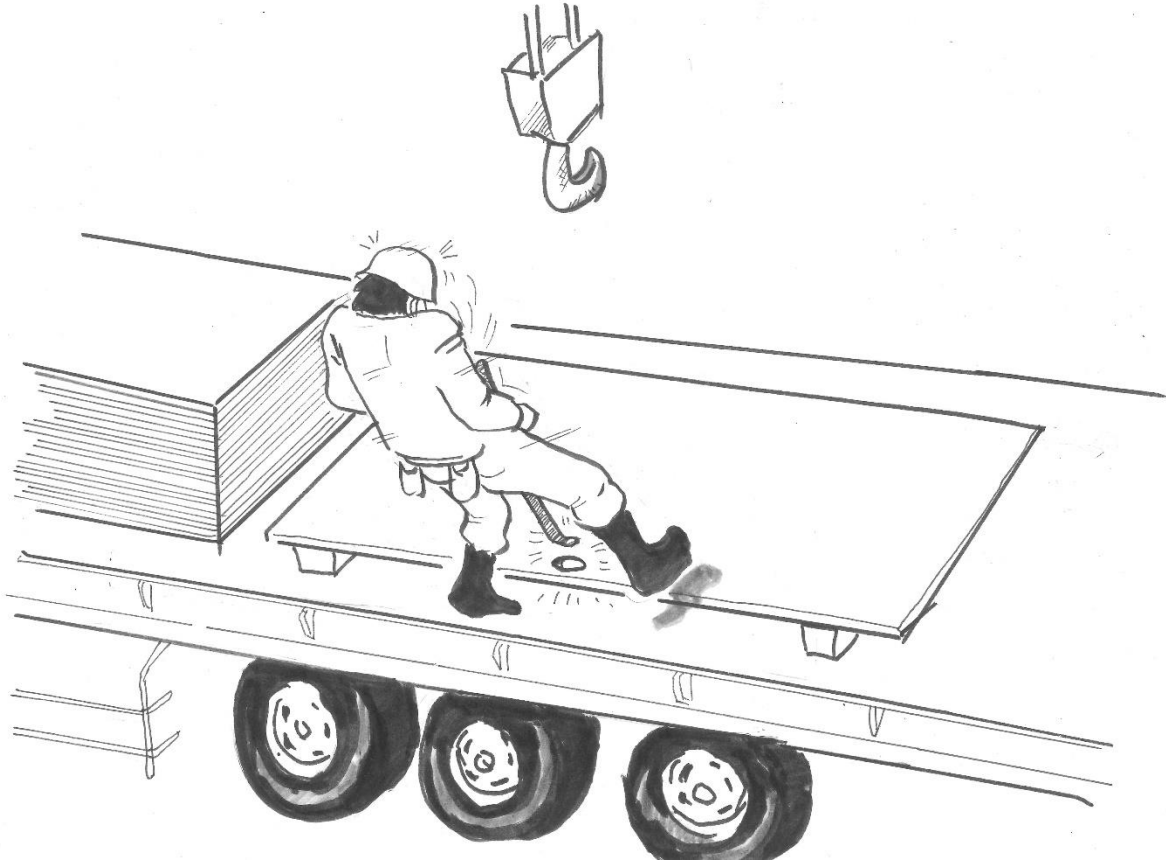


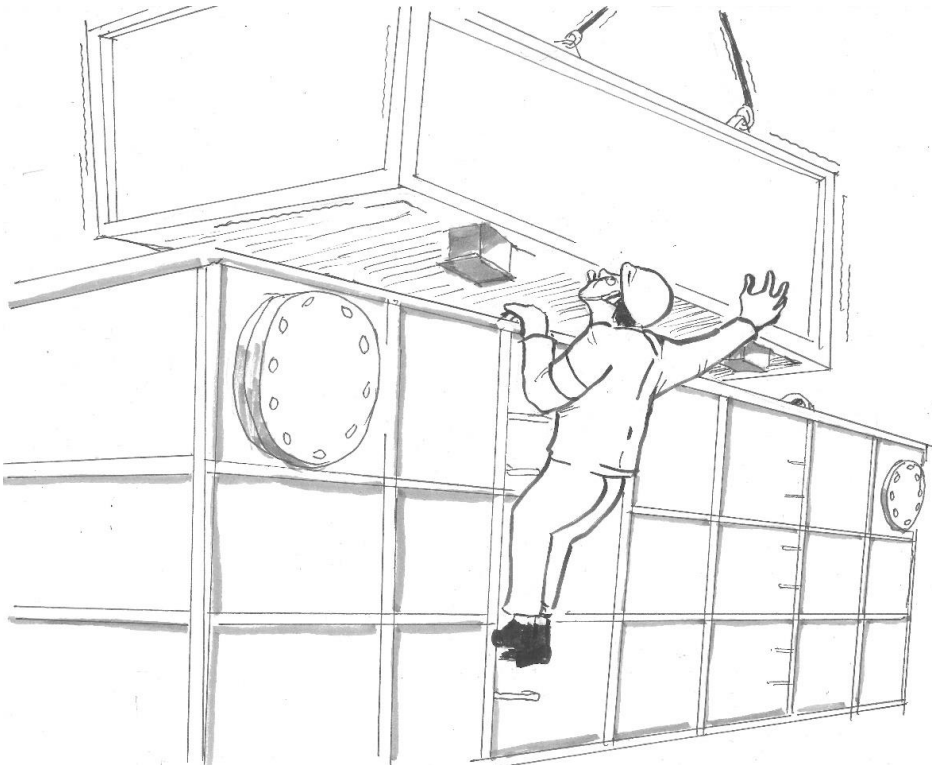
災害事例 (休業5)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2021年3月1日(月)	15時20分	現場
職種:年齢:経験	作業員	50才	3年
発災時の作業内容	出荷場でタンク車(貨車)の入替作業をしていた。この時、エアホースの結合部に不具合があったので手直しするために当該結合部に左足をかけた。突然結合部が外れ、バランスを崩して貨車の連結器に左わき腹を打ちつけ負傷した。		
傷病名:部位:程度	骨折	左肋骨	休業3日
事故の型:起因物	激突	貨車連結用エアホース	
原因	不安全な状態	・エアホースの結合部が容易に外れる状態になっていた。	
	不安全な行動	・エアホースに足をかけた。	
	安全管理上の欠陥	・エアホースの修正作業における手順を定めていなかった。	
再発防止対策	・エアホースの修正作業における手順書を定め、出荷場作業員へ教育を行い、現地で確認指導する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			


災害事例 (休業6)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2021年5月17日(月)	8時15分	: プラント建屋内
職種:年齢:経験	作業員	: 30才	: 8ヵ月
発災時の作業内容	遠心分離機内部にセットしてある、ろ布(550mm×4820mm)を取り外す作業時に、中腰でろ布を引っ張ったところ腰部に痛みを感じた。 (腰への負担を軽減する腰痛ベルトを常時装着していた)		
傷病名:部位:程度	腰部挫傷(ギックリ腰)	: 腰	: 休業2日
事故の型:起因物	動作の反動、無理な動作		: 遠心分離機
原因	不安全な状態	・作業場所が低い。(中腰にならないと作業ができない)	
	不安全な行動	・無理な姿勢(中腰)でろ布を引っ張った。	
	安全管理上の欠陥	・腰痛予防に関する教育指導が不十分だった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛予防に関する教育や指導を行う。</li> <li>・腰痛体操などを取り入れ、リスクを低減させる。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し



災害事例 (休業7)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2021年6月14日(月)	18時5分	: プラント内
職種:年齢:経験	作業員	: 52才	: 4年
発災時の作業内容	<p>就業時間後の人員確認において確認できなかったため、捜索活動を行っていたところ、水添脱硫装置リアクター内部において、被災者が意識不明の状態で見つされた。</p> <p>※被災者は、NDI（非破壊検）の前処理状況を確認する作業を行っていた。</p>		
傷病名:部位:程度	酸欠	:	- : 死亡
事故の型:起因物	有害物等との接触	:	異常環境等
原因	不安全な状態	複製、無断転載を禁止	
	不安全な行動	・無許可で作業を行った。	
	安全管理上の欠陥		
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無許可作業はしない。</li> <li>*対策検討中</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業8)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所		2021年8月26日(木) 16時10分	構内
職種:年齢:経験		鳶職	51才 5年6ヵ月
発災時の作業内容		車両養生鉄板(長さ3m×幅1.5m、800kg)をトラックの荷台から降ろす作業を行っていた。養生鉄板のつり上げ用の穴にクレーンのフックをかけるため、養生鉄板の穴にバールを差し込んでずらした時、穴にかけたバールが抜けて、荷台(1.5m)から転落して負傷した。	
傷病名:部位:程度		骨折	右鎖骨 休業90日
事故の型:起因物		墜落、転落	鉄板
原因	不安全な状態	・トラックの荷台に養生鉄板を直接重ねて積載していた。	
	不安全な行動	・トラックの荷台に積載時、省略行為をした。(通常は木材を挟み隙間を作る) ・親綱は設置されていたが、墜落制止用器具を使用しなかった。	
	安全管理上の欠陥	・トラックの荷台に養生鉄板を積載する時の方法について確認、指導が不十分だった。 ・墜落制止用器具の使用について指導していなかった。	
再発防止対策		・トラックの荷台に養生鉄板を積載する際は、木材を挟むなど隙間を作ることを徹底する。 ・1.5mであっても「墜落制止用器具」の使用を徹底する。	
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業9)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所		2021年9月10日(金) 8時40分	: 屋外
職種:年齢:経験		作業員	: 39才 : 4ヵ月
発災時の作業内容		<p>作業員2名、作業員兼合図者1名(被災者)、監視員1名、クレーン操作者1名の計5名で、仮設角槽を搬出するため、32㎡角槽内に26㎡角槽(5.36Ton)を入れ込む作業をしていた。この時、つっていた26㎡角槽が振れ、角槽の入れ込み具合を確認していた合図者が32㎡角槽のつりラグと26㎡角槽下部側面の間に左手中指を挟み被災した。</p>	
傷病名:部位:程度		骨折	: 左手中指 : 休業14日
事故の型:起因物		はさまれ、巻き込まれ	: クレーン
原因	不安全な状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介錯ロープを26㎡角槽の下部に取り付けていたため、32㎡角槽に入れ込む前に介錯ロープを取り外していた。</li> </ul>	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角槽のラダーを使用していたため、つり荷に挟まれる可能性のある場所に手を置いていた。</li> <li>・合図者(被災者)は不安定な場所でクレーン操作者に合図を出していた。</li> </ul>	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監督者不在で作業をさせた。</li> <li>・合図者に作業者を兼務させた。</li> </ul>	
再発防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・監督者を配置し、作業の指揮および確認にあたらせる。</li> <li>・合図者には作業者を兼務させない。</li> <li>・介錯ロープを角槽の中段に取り付け、角槽を半分程度入れ込んで、荷ぶれがないことを確認してから介錯ロープを取り外すようにする。</li> <li>・作業には角槽のラダーは使用せず、脚立または作業台を使用する。</li> </ul>	
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業10)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所		2021年10月23日(土) 10時40分	: 構内
職種:年齢:経験		作業員	: 46才 : 13年
発災時の作業内容		クランプリフトによる出荷用パレットの履き替え時、製品とパレット表示を合わせるためにパレットを反転させた。その時、パレットが作業員側に戻り、右足首前部に接触した。	
傷病名:部位:程度		挫創、靭帯損傷	: 右足 : 休業4日
事故の型:起因物		激突され	: パレット
原因	不安全な状態		
	不安全な行動	・重量物(パレット)を手作業で反転させた。	
	安全管理上の欠陥	・重量物(パレット)の反転作業方法について取り決めをしていなかった。	
再発防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作業によるパレット反転作業を中止し、クランプリフトによる作業とする。</li> <li>・パレット取扱い基準を作成し、関係者に周知する。</li> </ul>	
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業11)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所		2021年11月14日(日) 9時10分	プラント内
職種:年齢:経験		運転士	58才:17年
発災時の作業内容		ISOコンテナへの積込作業が終了し、コンテナ上部での封印作業を行うため、はしごを昇降中に墜落し負傷した。	
傷病名:部位:程度		骨折	:両足:休業90日
事故の型:起因物		墜落、転落	:はしご
原因	不安全な状態	・はしご昇降時にセーフティーブロックが使えない環境だった。	
	不安全な行動	・急いでいた。 ・他の作業に気を取られていた。	
	安全管理上の欠陥	・セーフティーブロックが使えない環境を放置していた。	
再発防止対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティーブロックを使用できるように設備改造をする。</li> <li>・セーフティーブロックが使用できない場合には作業をしない。</li> <li>・はしご昇降時には急がないこと、昇降に集中することをリスクアセス等で運転士に周知する。</li> </ul>	
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し
